

## 正誤表

『精神神経学会 認知症診療医テキスト』 p81 表2 の出典につき誤りがございましたので下記のように訂正してお詫び申し上げます。

正

▶表2 認知症に出現する妄想とその内容

妄想の名称	妄想の内容	具体例	頻度の高い疾患
カプグラ症候群	身近な人物が他人であると否定	「妻は偽者である」	DLB, AD
フレゴリの錯覚	赤の他人が, 身近な人物であると主張	「隣にすわっている男は, 夫が変装している」	AD, DLB
重複記憶錯誤	同じ人物や場所が2つ以上存在する	「妻が2人いて, もう1つの自宅に住んでいる」	DLB, AD, VaD
幻の同居人	自分の家に見知らぬ人が入り込んでいる	「天井の裏に誰かが住んで, 悪さをする」	DLB, AD
鏡現象	鏡にうつった自己像を他者と誤認	「鏡に知らない人がうつっている」	AD
物盗られ妄想	自分の大事にしている金や財布などが盗られたと確信する	「嫁が自分の預金通帳やお金を盗んで使っている」	AD, DLB
嫉妬妄想	事実でないにもかかわらず配偶者を疑う	「夫が隣人の女性と関係している. 外出するのは隣人と逢うために違いない」	AD, DLB, VaD

AD : アルツハイマー病, DLB : レビー小体型認知症, VaD : 血管性認知症

(仲秋秀太郎, 佐藤順子: 周辺症状 人物誤認. 認知症ハンドブック (中島健二, 天野直二, 下濱 俊, 富本秀和, 三村 將編). 医学書院, 東京, p.65-76, 2013)